

第5回札幌市学校適正配置検討懇談会資料

(通学区域の弾力的運用・きめ細かな教育について)

資料ページ

資 料 名

- 1 小中学校における学校選択制等の実施状況について
小学校低学年における少人数学級編制について
- 2 きめ細かな指導 - T T ・少人数指導 - について

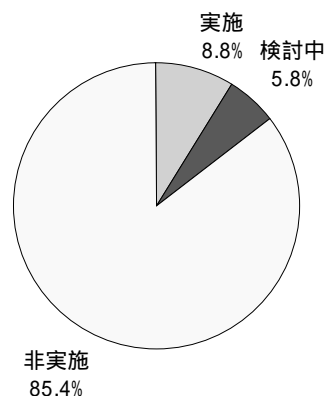
小中学校における学校選択制等の実施状況について

1 小学校

小学校における学校選択制等の実施状況は、実施している自治体が8.8%（227自治体）、検討中が5.8%（150自治体）となっている。

項目	自治体数	構成比
実施	227	8.8%
検討中	150	5.8%
非実施	2,199	85.4%
合計	2,576	100.0%

（平成16年11月現在 文部科学省調査より）

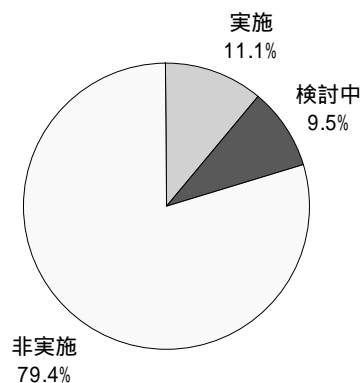


2 中学校

中学校における学校選択制等の実施状況は、実施している自治体が11.1%（161自治体）、検討中が9.5%（138自治体）となっている。

項目	自治体数	構成比
実施	161	11.1%
検討中	138	9.5%
非実施	1,149	79.4%
合計	1,448	100.0%

（平成16年11月現在 文部科学省調査より）



小学校低学年における少人数学級編制について

1 少人数学級実践研究事業（札幌市における実施状況）

	平成16年度	平成17年度
1年生	48校	43校
2年生		42校

（平成17年5月現在 学校基本調査(札幌市)より）

きめ細かな指導 - T T ・少人数指導 - について

1 きめ細かな指導（T T ・少人数指導）の目的

- 学習指導要領に示されている「生きる力」をはぐくむ
- ・ 学ぶ意欲、思考力、判断力、表現力、問題解決能力などの「確かな学力」をはぐくむ
 - ・ 少人数の集団の中での活動などを通して、他者に共感したり、自らを律する心をはぐくむ

T T ・少人数指導は有効な指導法の一つ

2 現在の札幌市における実施状況

(平成17年度予定)

	件数	割合
小学校	201校	97%
中学校	97校	99%

3 実施形態の例

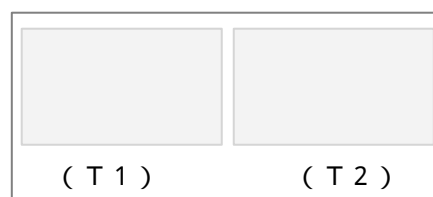
学級を解体しないで、単一の学習集団を複数の教員が協力して指導する。

一般的にチーム・ティーチングといわれる。個別指導だけでなく、ときに応じてグループ学習などを臨機応変に取り入れることができる。



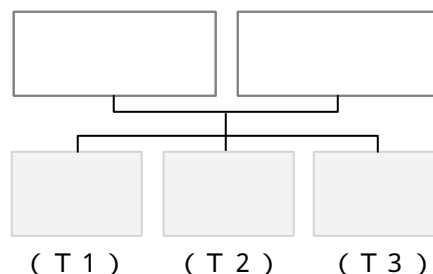
学級を解体しないで、同一学級内で複数の学習集団を編成する。

基本組織である学級がそのままであるため、他学級との調整が不要である。



複数の学級を解体し、学年内で学級数より多い数の学習集団を再編成する。

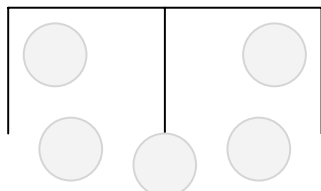
例えば、2学級を3つの学習集団に分け、学級担任の他にも指導教員を入れることによって、学年として子供たちの指導に当たる。



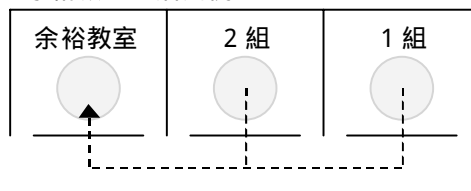
教科等の特性によって、等の形態を工夫して課題別や習熟度別を行っている。

4 学習環境の工夫例

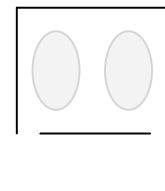
・ オープンスペースの活用



・ 余裕教室の活用例



・ 通常教室の活用例



5 成果（研究委託事業の研究集録、指導主事による学校訪問及び、各種研修会での声から）

- ・ 個々の子供の理解や習熟の程度に応じて個別に指導が行うことができ、子供の理解度が高まった。
- ・ 子供の興味や関心に合わせて課題別にグループ分けして学習することで、学習への意欲が高まった。
- ・ 習熟度別でグループ分けを行い学習することで、子供たちから分からないところが分かって楽しいなどの声が出ている。